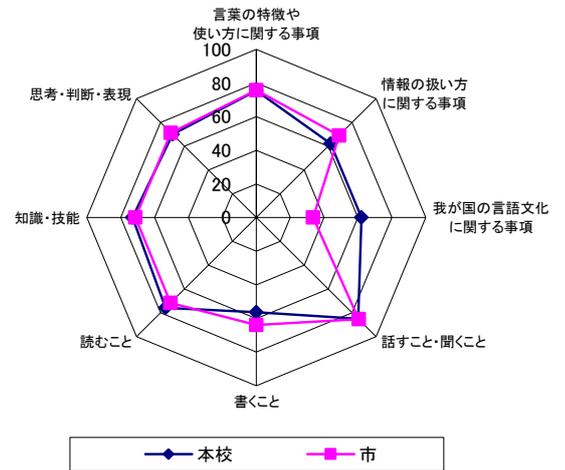


宇都宮市立東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|-----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 75.5 | 75.8 | 77.5 |
| | 情報の扱い方に関する事項 | 62.1 | 69.1 | 67.0 |
| | 我が国の言語文化に関する事項 | 62.1 | 33.5 | 37.2 |
| | 話すこと・聞くこと | 85.1 | 85.5 | 86.5 |
| | 書くこと | 56.3 | 63.9 | 65.8 |
| | 読むこと | 75.9 | 71.6 | 69.5 |
| 観点別 | 知識・技能 | 73.0 | 71.3 | 72.9 |
| | 思考・判断・表現 | 69.9 | 71.3 | 71.4 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-----------------|---|---|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | <p>平均正答率は75.5%であり、市の平均と同程度である。</p> <p>○6年生に配当されている漢字を読む問題では、3問中2問で正答率が100%であった。</p> <p>○敬語を正しく理解して使う設問では、正答率が89.7%で市の平均を16.6ポイント上回っている。</p> <p>●三字の熟語の成り立ちについて理解する設問では、正答率が51.7%と市の平均を15.5ポイント下回っている。</p> | <p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・漢字の学習において、今後も繰り返し練習するだけでなく、熟語を調べたり、漢字を活用したりする学習を行い、漢字を日常生活で使えるよう家庭学習を工夫していく。</p> |
| 情報の扱い方に関する事項 | <p>平均正答率は62.1%であり、市の平均より7ポイント下回っている。</p> <p>●原因と結果など情報と情報との関係について理解する設問で正答率が51.7%と市の平均を7ポイント下回っている。</p> | <p>・文章と文章を関連付けて読んだり、比べながら読んだりするだけでなく、今後はさらに、共通していることは何か、違う点は何かに着目しながら読めるようにしていく。また、読み取ったことを簡単に文章にまとめることも取り入れていく。</p> |
| 我が国の言語文化に関する事項 | <p>平均正答率は62.1%であり、市の平均より28.6ポイント上回っている。</p> <p>○語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解する問題では、平均正答率は62.1%であり、市の平均より28.6ポイント上回っている。</p> | <p>・和語、漢語、外来語など、語句の由来に関心がもてるように日々の生活の中で意識させるようにしていく。さらに、語句の由来について正確に理解できるように、漢字の読みにおける「音読み」と「訓読み」について意識させ、和語と漢語の区別ができるように指導していく。</p> |
| 話すこと・聞くこと | <p>平均正答率は、85.1%であり、市の平均とほぼ同程度である。</p> <p>○話の内容を捉え、設問に答えることができている。また、自分の聞こえようとする意図に応じて文脈を考える設問においては、問題文の内容を理解した上で当てはまる言葉を考えて答えることができている。</p> | <p>・今後も資料を活用しつつ、自分の考えが聞き手に伝わるよう表現を工夫したりできるよう、日頃からスピーチなど話す機会を多く作っていく。また、テレビなどを視聴する際には、話し方などに意識を向けて聞くよう声を掛けていく。</p> |
| 書くこと | <p>平均正答率は、56.3%であり、市の平均を7.6ポイント下回っている。</p> <p>●字数制限や答える際の注意点を踏まえ、決められた制限の中で考えをまとめて書くという設問に関して、市の平均よりも17.8ポイント下回っている。</p> | <p>・今後も児童が文章を書くことに抵抗を感じないように、普段から自分の考えを書く活動を取り入れていくようにする。また、目的や相手意識をもたせて書いたり、行数や段落の数を指定して書いたり、制限を持たせて書く活動を取り入れたりするなど、様々な方法で書かせ、書く力の向上に取り組む。</p> |
| 読むこと | <p>平均正答率は、75.9%であり、市の平均を4.3ポイント上回っている。</p> <p>○登場人物の心情について、描写を基に捉える設問や全体像を想像したり、説明文の叙述を基に文章の内容を捉えたりする設問においては、全国平均を大きく上回っている。</p> | <p>・物語文の学習では、人物像を想像する活動を多く取り入れる。そのため、文章を読み込ませたり、自分の考えなど書かせたりする機会を増やし、それを基に人物像に結び付けられるような指導をしていく。</p> |